

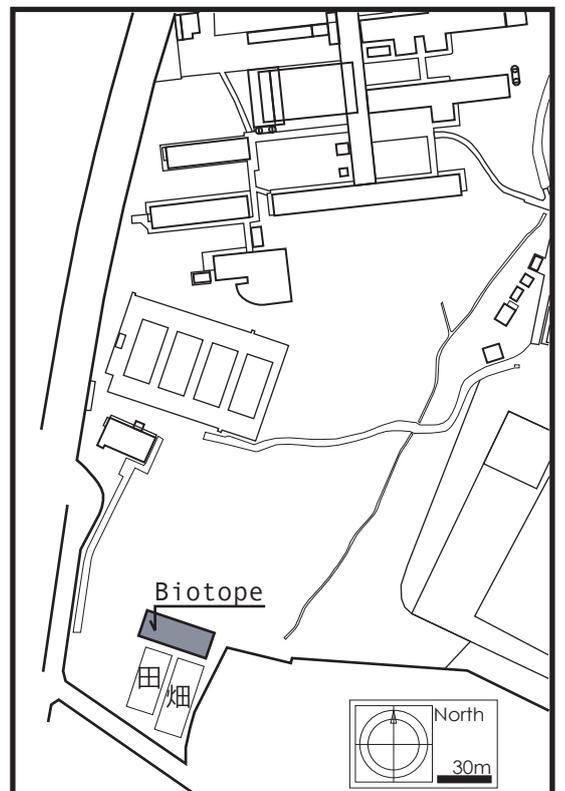
## Introduction

### ビオトープ池が完成

昨年末に、南の畑地の脇に池が完成しました。皆さんもご存知のとおり、30年前まで校内には野火止用水が流れていました。この池は、昭和以前の野火止用水がまだ清らかな水を湛えていた頃の水辺の自然を再現しようという目的で造られたビオトープ池です。用水の水はもはやひくことは不可能なので、最初の計画では井戸を掘ったらどうかということも考えたのですが、それもなかなか難しく、結局、上水道から水を流し、ゴムシートの上に荒木田土を敷き固めて池にしました。池の中や周囲には、当時は普通に見られた植物を植栽し、カントリーヘッジや観察路をつくり水辺の自然を再現しました。この中には今では貴重な植物もあり、どれくらいが根付いてくれるか見守っていきましょう。動物に関しては、基本的には水生昆虫など小動物が自ら移動して住み着いてくれることを期待しますが、池には様子を見ながら小動物を放流することも考えています。

これまでも、2000年に生物室脇の飼育池を改造しビオトープ池として観察しています。ところが四方を校舎に囲まれてしまって、周囲の自然から隔離された状態になっています。それでもヒキガエルが2度産卵しましたし、ヤゴも数種類の生息が確認されています。南の新しい池は、雑木林に隣接し開放されたビオトープ池であるので、さらに多くの生物達が生息してくれるものと期待できます。池と林はセットで存在すると生物種は爆発的に増加します。そんな話はまた次回にいたしましょう。

春になり暖かくなると、南の池に植栽した様々な植物が芽吹きますので、どんな植物があるかぜひ楽しみに観察してみてください。ただひとつお願いなのですが、そっと遊歩道から観察してください。植栽の中を踏み荒らしたり外来種などの生物を放したりは絶対にしないでください。それを守ってくれさえすれば、必ず野鳥や警戒心の強い動物も住み着くようになり、100年後もこの自然がタイムカプセルのように変わりなく存在できる貴重な場所となるはずです。



(Izawa)

# 志木の自然[長月(9月), 神無月(10月), 霜月(11月), 師走(12月), 睦月(1月)]

## Plants [2004年9月~2005年1月までの記録]

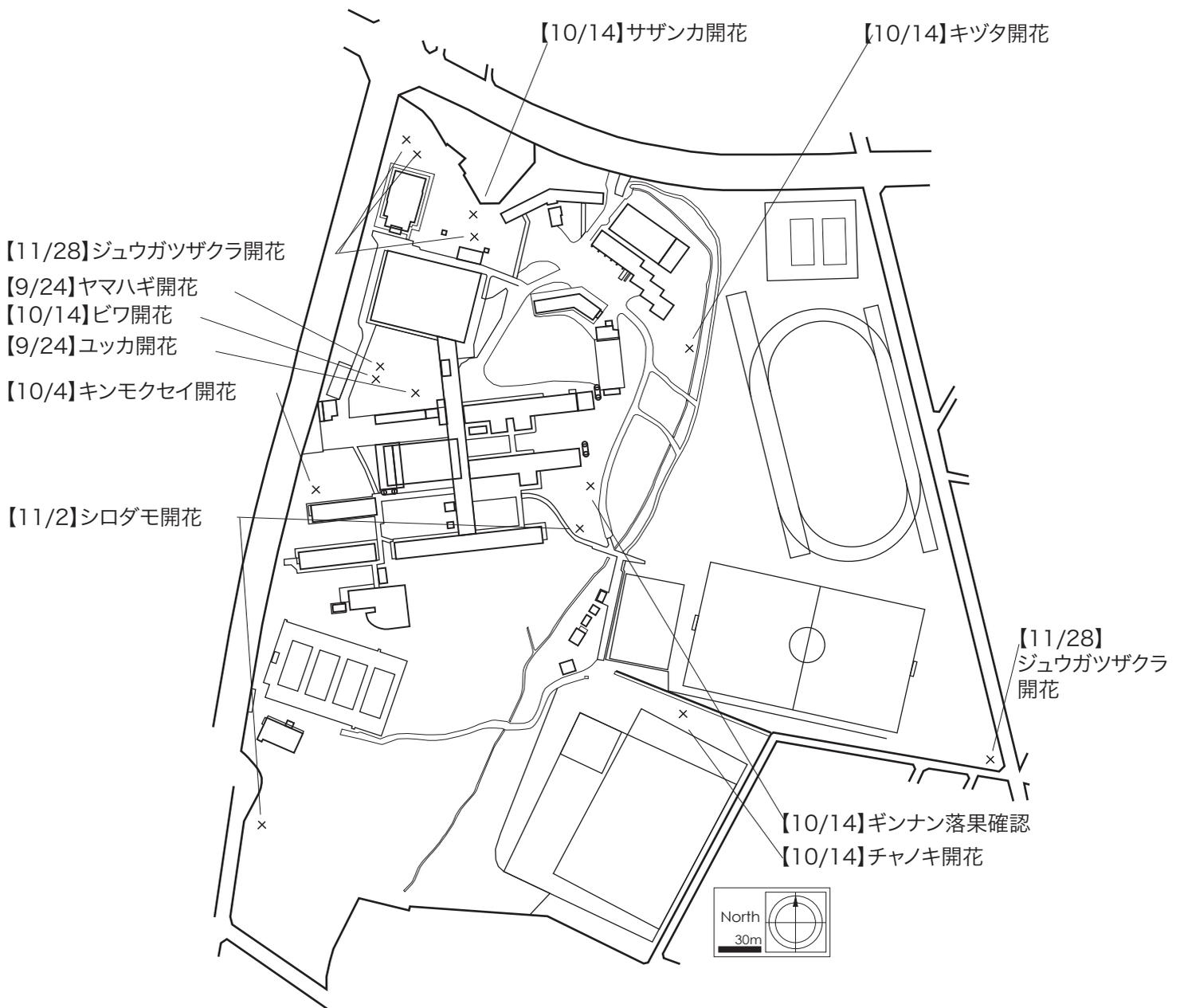
2004年の秋までこの学校にイチヨウの雌木はないと思っていたが、10月10日台風22号通過の後、文科棟南のイチヨウの根元に銀杏(ギンナン)が数個落ちているのを確認した。来年以降に落果を確認できれば、間違いなく1本は♀という事になる。

## Grass

24th Sep. 2004	アキノタムラソウ, シロザ, ツルドクダミ開花.
14th Oct. 2004	ホトトギス, セイタカアワダチソウ, アメリカセンダングサ開花.
2nd Nov. 2004	ツブキ, ハマヤブマオ開花.
14th Dec. 2004	タチツボスミレ開花 <sup>Ⓜ</sup> .
21st Dec. 2004	ホソアオゲイトウ, ハリビユ, ナズナ <sup>Ⓜ</sup> , オオイヌノフグリ <sup>Ⓜ</sup> 開花.

\*: 季節外開花=要するに狂咲き

## Wood



この限られた紙面では、名前の出ている植物や動物がどのようなものであるかをお示しする事は不可能です。名前を手がかりにぜひ図書館で一度調べてみてください。

(Miyahashi)

気象観測記録(2004年)

○気温(Temperature) 最高 36.9°C(7/20 14:20) 最低 -2.2°C(1/25 7:10)

7月20日、志木校では36.9°Cを記録、東京では史上最高の39.5°Cを記録した。夏の太平洋高気圧に覆われ、晴れて気温も上昇した。これに関東の平野部では北西の風によるフェーン現象が加わり、さらに都心部ではヒートアイランド現象と海風の減少(臨海地区の高層ビル群が取り上げられた)の効果が加わったと考えられている。気象庁のデータ(気象庁電子閲覧室<http://www.data.kishou.go.jp/index.htm>)からわかるが、埼玉県内は北部から東部で北西風が卓越しており、西部にある志木では北部や東部に比べるとフェーン現象による効果はあまりなかったと考えられる。

○気圧(Pressure) 最高 1035.0hPa(12/2 22:30) 最低 977.2hPa(12/5 6:30, 7:00)

冬の冷たい高気圧に覆われると気圧は非常に高くなり(12月2日)、低気圧が通過するときは気圧が下がる(12月5日)。ただし、例年であれば台風が近くを通過する時が最も気圧が低くなる。

○湿度(Humidity) 最高 99%(10/4,5,6,9,20,21) 最低 17%(4/10 14:20)

○雨量(Rain, Rain Rate) 最高 月 609mm(10月) 10分間降水量 30.5mm/h(9/22 15:50)

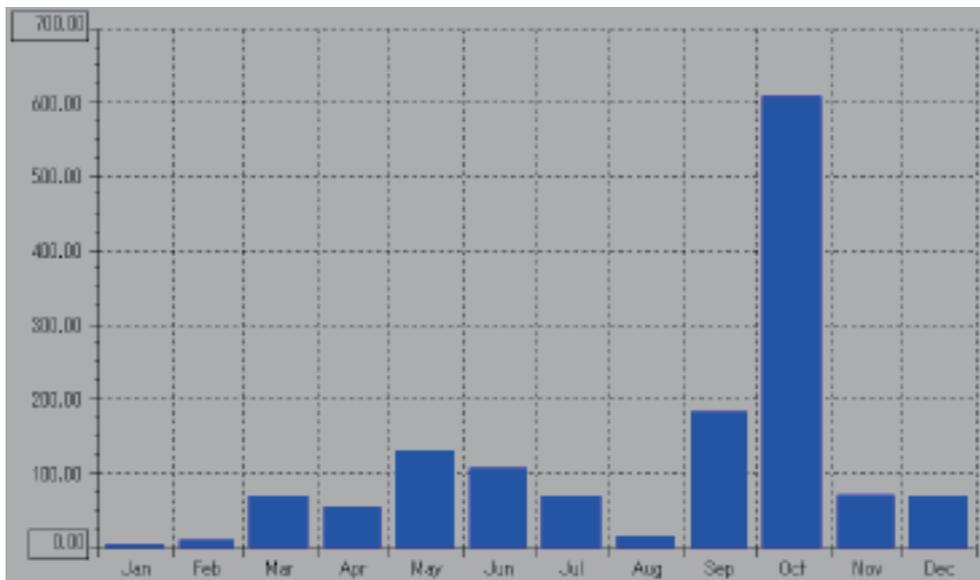


図 2004年の月別降水量. 縦軸の単位は[mm]

10月に3個の台風が接近・上陸した。台風自身による降水と、その北にある秋雨前線に台風から暖かく湿った空気が流入することによる降水で、年間降水量の半分程度が10月に集中した。湿度も梅雨時期よりも台風接近時のときが最も高かった。このような現象はこれまで9月に頻発していた。

なお、東日本(名古屋以東)では梅雨期よりも秋雨期の方が降水量は多い。

○風速(Wind Speed) 最高 6.7m/s(2/22 22:10, 3/26 18:10) 最大瞬間値 17.9m/s(5/31 13:00)

2月22日、日本海で低気圧が急速に発達し、関東地方は寒冷前線の通過に伴い突風が吹いた。この日の志木の最大瞬間風速は17.0m/s、東京は29.1m/s(気象庁)であった。志木では5月31日に次いで2番目で、このような(2/22, 5/31, 3/26, 1/8などの)突風は寒冷前線の通過による。

○日射量(Radiation)

最高 1168W/m<sup>2</sup>(7月10日12:20) 最大瞬間値 1484W/m<sup>2</sup>(8月3日11:00)

○紫外線指数(UV Index)※

最高 7.8(7月31日12:30) 最大瞬間値 9.1(8月3日11:00, 11:10)

※UV Indexは、WMO(世界気象機関)が定めたもので、紫外線の皮膚への影響調査に基づいて決められた11段階の指標[1(弱い)~11+(極端に強い)]である。

測定機器: Davis社(米国) Health Enviro Monitor ™

(Higuchi)

冬ざれて明るくありぬビオトープ

日脚伸ぶころのひとつの別れかな

今回の句も、本井英先生に作句をお願いしました。

「日脚伸ぶ(びる)」は、一月の季題です。  
 昼間の時間が最も短い冬至の十二月二十二日前後から少しずつ日は伸びていきますが、それが実感できるのは二〜三月以降なので、春の季題と思われる方が多いようです。俳句の先人達が、如何に季節のうつろひに敏感であったかがわかります  
 (本井先生談)。

解説文 文責 宮橋

英 英

シラサギ

Birds

2005年1月3日、教員室直下の防火用水にダイサギが訪れていた。防火用水中にいる小魚を狙っていたようである。一般に『シラサギ』と呼ばれているものは、ダイサギ、チュウサギ、コサギの、羽色の白いサギの総称である(クロサギという鳥はいるのだが、シラサギという鳥は生物学的に存在しないのである)。

本校敷地南端の新しいビオトープが機能しはじめれば、このような鳥類もそちらに現れるようになるだろう。楽しみに待ちたい。

(Miyahashi)

執筆・担当区分	俳句	本井 英 (Motoi)
	動物・環境	井澤 智浩 (Izawa)
	天文・気象	樋口 聡 (Higuchi)
	鳥類・植物	速水 淳子 (Hayami)
	植物・小動物[&発行責任]	宮橋 裕司 (Miyahashi)